

感動をデザインします

**TWINBIRD**

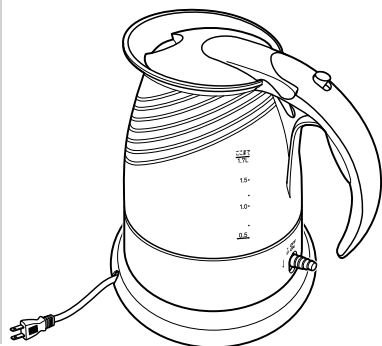
pdf版

家庭用

湯沸かし専用

電気ケトル

# TP-D407 取扱説明書



このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。この取扱説明書をよく読んでから使用してください。不適切な取扱いは事故につながります。この取扱説明書は必ず保管してください。

## もくじ

安全上のご注意	1・2
使用上の注意とお願い	3
各部の名称とはたらき	4
使いかた	5・6
お手入れ	7・8
こんなときは	9
アフターサービス 仕様	10

RX0503A

## ご使用上のご注意

ツインバード工業株式会社は、この資料並びにコンテンツの著作権を有しています。

この資料並びにコンテンツは、著作権法等の法律で保護されており、お客様はこの資料並びにコンテンツに関し下記に記載されている条件でのみ利用することができます。

- 1 お客様は非営利目的に限り、ダウンロード、使用することができます。
- 2 お客様がダウンロード、使用するときは、この著作権表示及び使用条件を一緒に付す必要があります。
- 3 お客様は、この資料並びにコンテンツを改変したり、頒布、公衆送信、上映等に利用することはできません。

当社及び当社の関係会社は、お客様に対して、この資料並びにコンテンツに関する著作権、特許権、商標権、意匠権及びその他の知的財産権をライセンスするものではありません。ならびに資料並びにコンテンツの内容についてもいかなる保証をするものでもありません。

またこの資料並びにコンテンツ内に別の定めがある場合は、当該著作権表示、使用条件を厳守する必要があります。

このコンテンツはWeb上で使用を前提とし再編集を加えているため、必ずしも製品添付の取扱説明書とは同一ではありません。特にページ順は編集上、入れ替えている場合があります。

この資料並びにコンテンツに保証書は掲載しておりません。

この資料並びにコンテンツに記載されている内容は、それぞれの商品の発売時点のものです。

デザイン、仕様等は商品改良のため予告なく変更する場合があります。

# 安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## ！警告



**分解禁止**  
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。



発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



**水ぬれ禁止**  
本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。



ショート・感電の恐れがあります。



**禁止**  
子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わないでください。



けがをする恐れがあります。



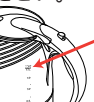
**禁止**  
使用中、ふきんなどで注ぎ口などをふさがないでください。



湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。



**禁止**  
満水目盛以上の水を入れしないでください。



湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。



**強制**  
電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

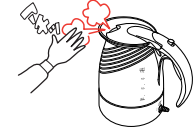


**強制**  
湯沸かし中はふたをあけたり、給湯したり、湯を注がないでください。

湯が飛び散り、やけどの原因になります。



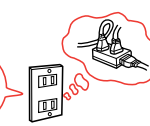
**接触禁止**  
注ぎ口に手をかざしたり、触れたりしないでください。



やけどをすることがあります。特に乳幼児にはさわらせないようご注意ください。



**15 A 以上**  
定格 15A以上・交流 100Vのコンセントを単独で使ってください。



他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。また、火災・感電の原因になります。



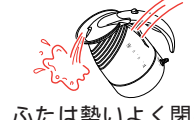
**禁止**  
傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しないでください。



湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



**禁止**  
ケトルを転倒させないでください。



湯が流れ出てやけどの恐れがあります。



**禁止**  
ふたは勢よく閉めないでください。



湯がふきこぼれやけどの恐れがあります。



**禁止**  
直火（ガス台等）や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に乗せないでください。

火災の原因になります。



**強制**  
電源プラグなどに金属やほこりなどのゴミを付着させないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

## ！警告



**接触禁止**  
湯沸かし中、湯沸かし後しばらくは、ケトル本体など高温部に触れないでください。

やけどの原因になります。お湯が沸いたときのケトル表面は、約 80 になります。



**ぬれて禁止**  
電源プラグはぬれた手で抜き差ししないでください。



感電の原因になります。



**禁止**  
電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となり感電・漏電火災の原因になります。

## ！注意



**禁止**  
水以外（牛乳、酒、お茶類）のものを入れたり、氷を入れて保冷用として使わないでください。

わきすぎによるやけどや、焦げつきや腐食や結露による感電の原因になります。



**禁止**  
不安定な場所や熱に弱い敷物の上、壁やカーテン・火気の近くでは使用しないでください。

火災の原因になります。



**強制**  
お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電やショートして発火することがあります。



**禁止**  
壁や家具の近くで使わないでください。蒸気または熱で壁や家具を傷め、壁や家具の変色、変形の原因になります。



**強制**  
ケトルを持ち運ぶときは、ふたを閉めてハンドルを持ってください。

ケトルが落下したり、湯がこぼれたりしてけがややけどの原因になります。



**強制**  
ケトルは電源ベースの中央にしっかりと載せてください。

転倒し湯が流れ出て、やけどをすることがあります。



**禁止**  
空だきをしないでください。

容器の熱変色など故障の原因になります。



**禁止**  
専用の電源ベース以外は使用しないでください。また、電源ベースを他の機器などに使用しないでください。

発火・故障などの原因になります。



**6**  
使用時以外は、電源コードを取りはずしてください。

プラグを抜く  
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



**6**  
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。

プラグを持って抜く  
感電やショートして発火することがあります。



**禁止**  
ふたを開けるときの蒸気に触れないでください。

やけどの原因になります。



**6**  
異常が発生した場合、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグを持って抜く  
感電、発火の原因になります。



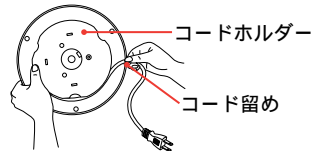
**禁止**  
電源ベース中央の接続部（金属部）にピンを差し込んだり、ゴミを付着させたりしないでください。

感電・ショート・発火の原因になります。

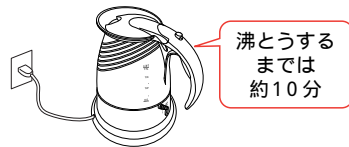
# ! 使用上の注意とお願い

余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

## 電源ベース裏面



お湯が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、約10分です。



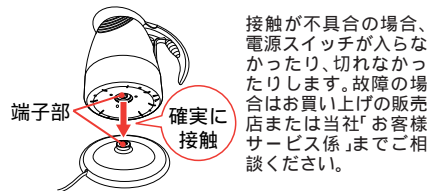
残り湯は捨ててください。



本製品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。



ケトルと電源ベースの接触端子部を確実に接触させてください。



長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてから、保管してください。

長期間清潔にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

ベンジン・シンナー・クレンザー・たわしなどを使わないでください。



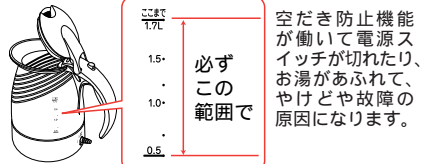
食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。



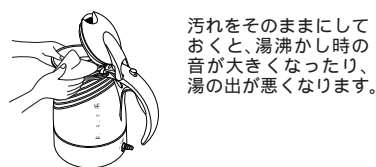
洗剤を使わないでください。



ケトルの最小目盛 0.5LからMAX 1.7Lの範囲でお湯を沸かしてください。

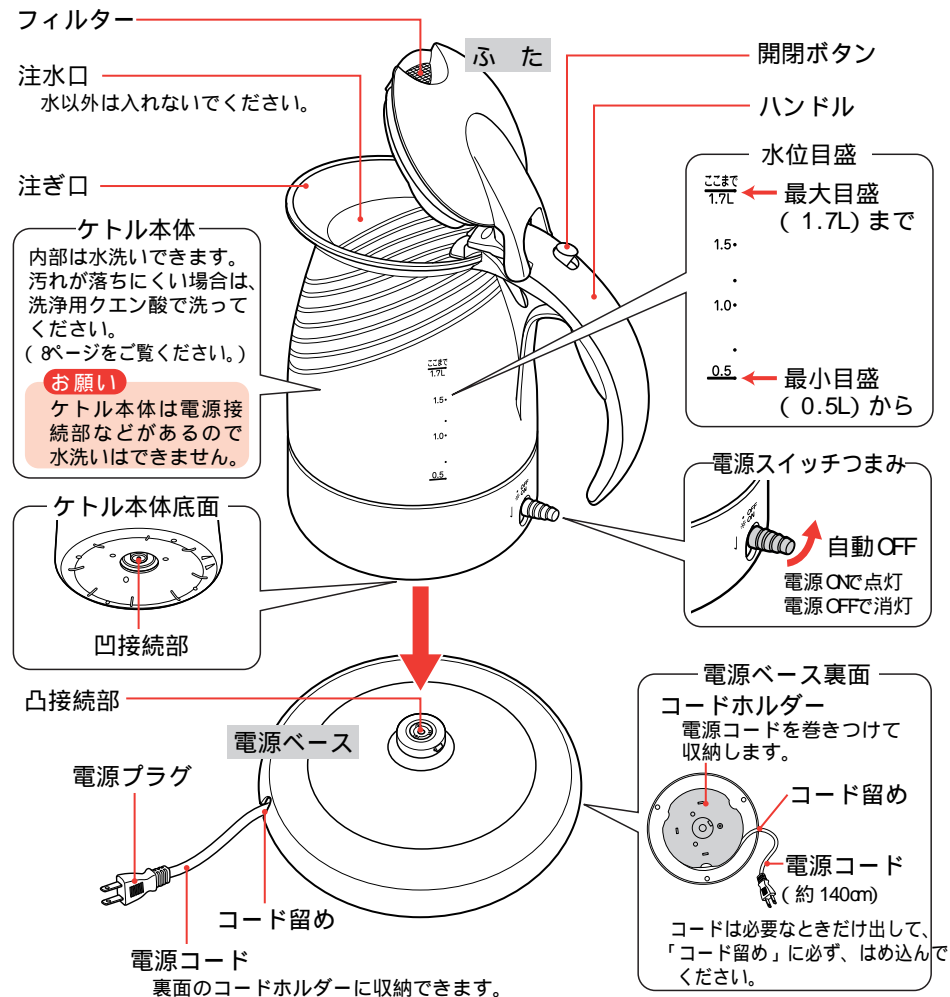


ケトル内部の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。



# 各部の名称とはたらき

本製品は、ケトル本体と電源ベースの分離式になっています。電源スイッチを入れないと通電しません。また、ケトル本体を電源ベースから、はずすと電源スイッチは自動的に切れます。空だきをすると、本体内の安全装置が作動して、電源スイッチが自動的に切れます。



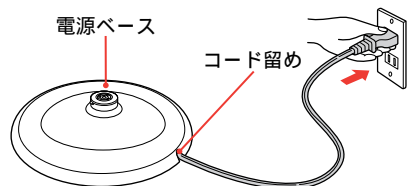
## お願い

この商品は水を沸かすためのものであり、水以外は沸かさないでください。この商品は火にかけられません。直火(ガス台)等や電気ヒーター、電磁調理プレートなどの上に載せることはできません。この商品は保温機能がありませんので、必要なときに必要な量だけ沸かしてください。お湯を沸かすときは必ずふたをしっかり閉めてください。

# 使いかた

初めて使うときは、事前にケトル内部を水またはぬるま湯でよくすすいでください。  
初めて使うときは、お湯がにおうことがあります。ご使用とともに少なくなります。気になるときは2~3回沸とうさせた後、お湯を捨ててください。

## 1.電源を接続します。

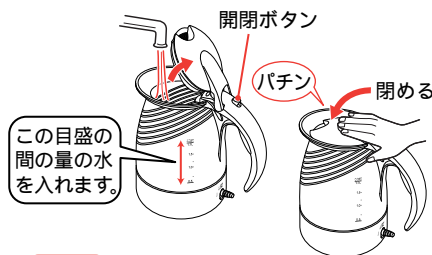


電源プラグをしっかりとコンセントに差し込みます。  
電源ベースは水平に設置してください。

### お願い

余分な電源コードは、コードホルダーに巻きつけ、コード留めにはめ込んでください。

## 2.ケトルに水を入れます。



ケトル本体を電源ベースからはずし、新鮮な水を必要な量(0.5L~1.7L)だけ入れます。  
ふたをしっかりと閉めます。

湯沸かし時間の目安 (20の水)
1.7L..約10分
1.0L..約6分
0.5L..約3分

### △注意

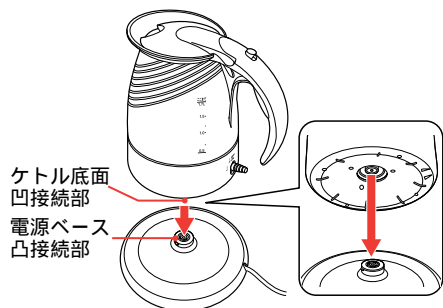
ふたをしっかりと閉めないで、沸とうしてもスイッチが切れません。

### お願い

ケトルの最低目盛以下の水量を沸かさないでください。空だき防止機能がはたらいで自動的に電源スイッチが切れる場合があります。この場合は、ケトルを電源ベースからはずし、しばらく冷ましてからお使いください。

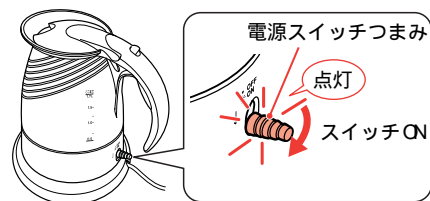
製品には保温機能がありませんので、必要ときに必要な量だけを沸かしてください。

## 3.ケトル本体を電源ベースに載せて、スイッチを入れます。

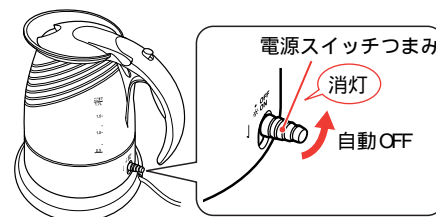


水を入れたケトルを、電源ベース凸接続部とケトル底面凹接続部を合わせてセットします。  
セットされていないとスイッチが「ON」になりません。  
ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。

電源スイッチつまみを押し下げます。  
電源ランプが点灯します。



## 4.お湯が沸いて、電源が切れます。



お湯が沸くと自動的に電源が切れます。  
(電源スイッチつまみが元に戻り、電源ランプが消えます。)

### お願い

1.7Lの水が沸とうするまでの時間は、水量・水温・室温などによって多少異なりますが、約10分です。

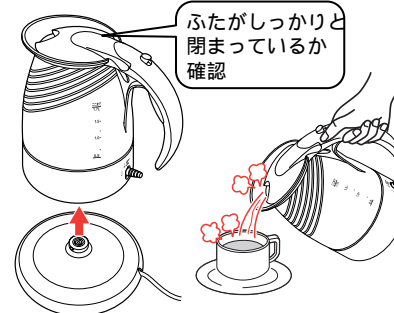
### お湯が沸く前に電源を切る場合

- 1.電源スイッチつまみを指で押し上げます。
- 2.ハンドルを持って、ケトル本体を電源ベースから持ち上げます。

### 連続して使用する場合

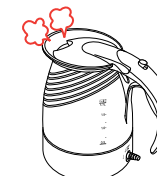
数分間、冷ましてから電源スイッチつまみを押し下げてください。

## 5.お湯を注ぎます。

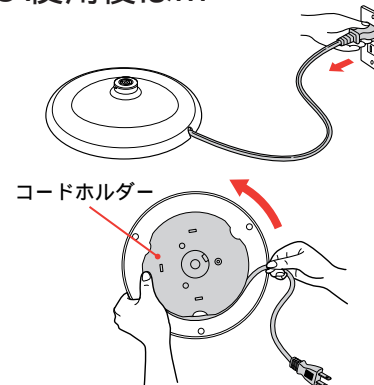


ふたがしっかりと閉まっているか確認します。  
ケトル本体を、電源ベースからはずしてください。  
お湯を注ぎます。

ケトル底面はあまり熱くなりません。  
直にテーブルに置くことができます。



## 6.使用後は...



電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをコードホルダーに巻きつけます。

お湯を捨てて、ケトル内部を空にしてください。

### お願い

残り湯は捨ててください。放置すると変色・腐食の原因になります。



# お手入れ

必ず電源プラグを抜き、製品が冷めてからお手入れをしてください。

日常、こまめにお手入れをしてください。  
長く使用しているとケトル内部に水アカや白い浮遊物などが付着します。  
汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄をおすすめします。(8ページをご覧ください。)

## お願い

食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変形の原因になります。  
洗剤を使わないでください。  
容器の汚れ(水アカなど)はこまめにお手入れしてください。汚れをそのままにしておくと、湯沸かし時の音が大きくなったり、湯の出が悪くなります。  
長時間お使いにならないときは、お手入れ後、十分に自然乾燥させてください。

## ご注意

製品の丸洗いはしないでください。

感電事故の原因になります。



シンナー・ベンジン・クレンザー・たわしなどを使わないでください。

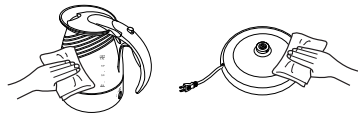


## ケトル内部

水ですすぎます。1~3ヶ月に1回、クエン酸洗浄します。(8ページをご覧ください。)

洗浄用クエン酸は、薬局などでお買い求めください。

## ケトル本体(外部)・電源ベース



よくしぼったふきんなどでふきとります。

## !水洗いできません

### ケトル本体



ケトル底面凹接続部

### 電源ベース



電源ベース凸接続部

ケトル本体下部、電源ベースには電源接続部などがあるのでケトル本体の内部以外は水洗いすることはできません。

## ケトル内部の水アカ(変色)や白い浮遊物について

白い浮遊物(ミネラル分の結晶) 乳白色、黒点、虹色などの変色  
赤さび状のはん点(もらいさび) ざらつき  
水の成分によるもので容器自体の変色や腐食ではありません。柔らかいスポンジで汚れが落ちないときは次の方法でお手入れをしてください。

レモン(1個分)を切って布にくるみ、満水量を入れてわかし、約1時間放置します。  
柔らかいスポンジでこすり落とし、よくすすぎます。  
再び湯をわかし、その湯を捨てます。

ミネラルウォーターやアルカリイオン水を沸かしたときは容器が変色したり、水アカが発生しやすくなります。

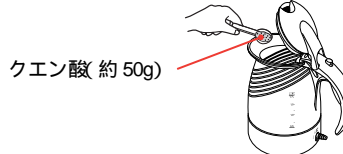
上記の内容で汚れの落ちにくい場合は市販の洗浄用クエン酸をご使用ください。

## アルカリイオン水をご使用になる場合

内容器にカルシウム分が付着しやすいため、こまめにお手入れを行ってください。

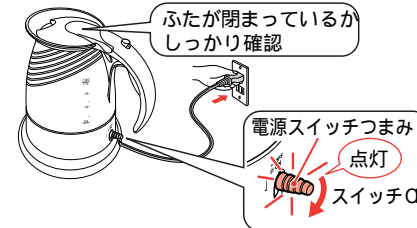
## 汚れがひどい場合...クエン酸洗浄を行ってください

### 1.ケトル本体にクエン酸を入れます。



ケトル本体に最大水位目盛(1.7L)まで水を入れて、約50gのクエン酸を入れ、ふたをします。

### 2.ケトル本体を電源ベースに載せて電源を入れます。

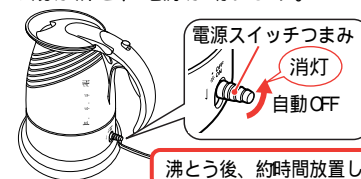


水を入れたケトルを、電源ベースの中央に正しく(ケトル底面の凹接続部と電源ベースの凸接続部を合わせて)セットします。

ふたがしっかりと閉まっていることを確認してください。

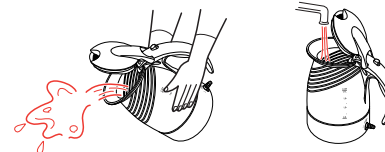
電源スイッチつまみを押し下げます。電源ランプが点灯します。

### 3.お湯が沸き、電源が切れます。



お湯が沸くと自動的に電源が切れます。(電源スイッチつまみが元に戻り、電源ランプが消えます。)

### 4.ケトル本体を電源ベースからはずします。



はずしたら、お湯を捨ててください。お湯を捨てたら容器を水ですすぎます。

### 5.再度、水を入れて沸とうさせます。

クエン酸のにおいをとるために水を最大水位目盛(1.7L)まで入れて、再度、沸とうさせて、お湯を捨ててください。

## お願い

汚れが落ちにくい場合は、くり返しくエン酸洗浄を行ってください。  
クエン酸洗浄の湯は飲まないようにしてください。  
必ず水から洗浄を始めてください。湯は入れないでください。  
最大目盛(1.7L)以上に水を入れしないでください。  
クエン酸洗浄後は電源ベースへの通電を止めます。

## こんなときは

ご使用中に異常が生じたときは、まず次の点をお調べください。

こんなときは	調べるところ	処 置
湯がわかない。 作動しない。	電源プラグがコンセントに差し込まれて いますか？	電源プラグをコンセントに差し込んで ください。
	電源ベースに本体がきちんと差し込ま れていますか？	電源ベースに本体をきちんと差し込ん でください。
沸とうする前に スイッチが切れる。	0.5Lに満たない水量で湯を沸かして いませんか？	ケトルをよく冷ました後、水を入れて、 電源スイッチを押してください。
	ケトルを空だきしていませんか？	空だき防止用の安全装置が作動して、 スイッチが入りません。
湯に白いものが浮く。 容器内が汚れている。 壁面がはがれたよう に見える	水アカが容器に付着していませんか？	容器をお手入れしてください。 ( 5ページをご覧ください。 )
	ミネラル分が多い水やアルカリイオン水を加熱すると、ミネラル分が結晶となり 白く見えることがあります。有毒ではありません。	
湯が出にくい。	フィルターが目詰まりしていませんか？	フィルターをお手入れしてください。
湯沸かし時の音が 大きくなる。	ケトル内部底面に水アカが付着して いませんか？	ケトル内部をお手入れしてください。 ( 5ページをご覧ください。 )
電源スイッチが 入らない。	ケトルと電源ベースの端子接触部が 正しく接触していますか？	電源ベースにケトルをきちんと差し 込んでください。 ( 5ページをご覧ください。 )
電源スイッチが 切れない。	ふたが閉まっていますか？	ふたがしっかり閉まっていないと沸と うしてもスイッチがきれません。 ふたをしっかりと閉めてください。 ( 5ページをご覧ください。 )
湯が注水口より あふれる。	水を注いだとき、満水表示よりも 多かった。	満水表示以下にして水を入れなおす。 ( 5ページをご覧ください。 )

## アフターサービス

### 1.保証書

裏表紙に添付しています。  
保証書は「お買い上げ日と販売店名」の記  
入をお確かめのうえ、販売店からお受け取  
りください。  
保証書をよくお読みになり大切に保管し  
てください。

### 2.保証期間

お買い上げ日から 1年間です。

### 3.修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、直ら  
ないときは電源プラグを抜いてからお買い  
上げの販売店または当社「お客様サービス係」  
に修理をご相談ください。

保証期間中の修理

保証書の規定により無料修理します。

商品に保証書を添えてお買い上げの販売  
店が当社「お客様サービス係」まで申し  
出ください。

保証期間がすぎている修理

修理により使用できる製品は、お客様のご  
要望により有料修理させていただきます。  
お買い上げの販売店が当社「お客様サービ  
ス係」にご相談ください。

### 4.補修用性能部品の最低保有期間

この電気ケトルの補修用性能部品の保有  
期間は製造打切り後 5年です。  
性能部品とはその商品の機能を維持する  
ために必要な部品です。

### 5.アフターサービスについてご不明の場合

当社「お客様サービス係」にお問い合わせください。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されてい  
ます。

技術料	故障した商品の修理および部品交換 などの作業にかかる料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

お客様サービス係

☎(フリーダイヤル) 0120- 337- 455

FAX ( 0256 ) 93- 1077

お電話承り時間：平日月曜～金曜) 午前9時～午後5時  
〒959-0292 新潟県西蒲原郡吉田町大字西太田2084-2

お客様ご自身の修理は大変危険です。分解したり手を加えたりしないでください。

## 仕 様

電 源	AC100V 50/ 60Hz
定 格 消 費 電 力	1200W
容 量	1.7L
製 品 寸 法(約)	幅 230mm×奥行 165mm×高さ 230mm
製 品 質 量(約)	1.1kg(電源ベース部含む)
電 源 コ ー ド(約)	1.4m